

-カムイと共に生きる- アイヌ民族から『私達の生き方』のヒントを見つける

## つなぐ・つながる 二風谷アイヌ展

MIYASHITA PARK EQUALAND SHIBUYAにて開催! 2/16(火)~3/20(土)



この度、株式会社ワンオーが運営するキュレーション型店舗 EQUALAND SHIBUYA（東京都渋谷区）では、2021年2月16日(火)から3月20日(土)まで、北海道平取町二風谷のアイヌ工芸の伝統を未来につなぐ企画展（期間限定ショッピングインショップ及びインスタレーション展示）『つなぐ・つながる 二風谷アイヌ展』を開催いたします。

アイヌ民族は主として北海道の先住民族で、雄大な自然との共生のなかで文化を育み、自分の周りに存在する動植物、自然など様々なものに宿る「カムイ」と共に生き、時代の変動を経ながら現代に文化を伝えてきました。

自然を敬い、その恵みに感謝する世界観を表現しているとも言われるアイヌの伝統工芸ですが、なかでも平取町二風谷地区では工芸が盛んで、アイヌの精神文化が今も色濃く受け継がれています。二風谷では、それらの技術を継承する地元工芸家たちにより、日々、伝統工芸品の制作と共に、ブランドの確立を目指した商品開発などの新たな取り組みも行われています。

平取町では、それらの取り組みを支援し、伝統工芸を通じてアイヌ文化を未来につなぐことを目的に「二風谷アイヌクラフトプロジェクト」を2020年10月に立上げ、現代のライフスタイルに沿った伝統工芸品の開発と、アイヌ文化の普及を行っております。

EQUALAND SHIBUYAでは『私達の生き方』をコンセプトに、お客様にとって「たいせつ」なことを、学び、考え、見つけるためのヒントをご紹介します。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大や大幅な気候変動の影響により、暮らし方や、生き方を見つめ直す機会となり、人と自然との関わりや人と人とのつながりに目を向ける人々が増えています。そのような時代において、アイヌ文化が継承してきた考え方や価値観は、現代社会を生きる人々にとって、多くの学びを得る機会になるのではないかと考え、今回の企画展の実施が決定いたしました。

EQUALAND SHIBUYAディレクターの森井 杏南(26)は今回のコラボレーションについて、以下のように語ります。『アイヌ文化に触れることで日本が持つ多様性を知り、自然の中で生まれた考え方や知恵を感じてもらい、新しい発見や気づきが生まれると嬉しく思います。』



今回の企画展では、アイヌ文化を伝える展示や、渋谷と二風谷がつながる“手紙”のインスタレーションエリアなどの展示企画のほか、大英博物館（英・ロンドン）にて自身のアイヌ現代アートが展示されている貝澤 徹 氏を始めとした二風谷地域の工芸作家による作品や、アイヌ伝統工芸を取り入れた手軽に手に取れるプロダクトまで、幅広い商品を販売いたします。

また、店内装飾で起用するアイヌ語の監修には、同町出身で現在都内大学に通いながら、YouTubeを通してアイヌ文化の普及と伝承に取り組む、関根 摩耶 氏(20)が参画。

『アイヌ民族の文化を教科書の中のものと思わず、もっと身近に感じて、楽しんで欲しい。デザインも、ことばも、世界観も、きっとみんなに好きになってもらえると思うから!』とコメント。

企画展の様子は、EQUALAND SHIBUYAホームページやインスタグラムでも配信予定です。この機会に是非、アイヌ文化の魅力をご体感ください。

## つなぐ・つながる 二風谷アイヌ展

日 時：2021年2月16日(火)～3月20日(土)

場 所：EQUALAND SHIBUYA (イコーランド シブヤ)

東京都渋谷区神宮前6-20-10 MIYASHITA PARK South 3F

内 容：アイヌ伝統工芸品、雑貨、衣類等の販売及び企画展示

STAFF：主催 平取町/総合プロデュース 坂本 祐子 (株式会社ワンオー PR01.) /アートディレクター 小野寺 美穂



### 関根 摩耶 Maya Sekine / アイヌ語監修

1999年生まれ。北海道沙流郡平取町二風谷出身。慶応義塾大学総合政策学部3年生。アイヌ文化の普及と伝承に取り組むyoutubeチャンネル『しとちゃんねる』を運用。

しとちゃんねる：<https://www.youtube.com/channel/UCsvS5QjLwvlVhWpK48L57Cg>



### 森井 杏南 anna morii / EQUALAND SHIBUYA ディレクター

1994生まれ。文化服装学院卒業後、ワンオー入社。

デザイナーズブランドや外資ブランドのPR、企画、コンサル業務に携わる。

現在は、2020年7月にオープンしたイコーランドシブヤのディレクターを務める。

## 【補足資料】

### 北海道沙流郡平取町 二風谷地域



北海道沙流郡平取町にある二風谷では、伝承活動の拠点としてチセ（住居）などの復元と、暮らしに関わる生活民具や祭具の複製など、アイヌの暮らしを伝えつなげる取り組みが行われています。さらに同エリアにはコタン（集落）が再現され、周辺にある工芸家らの工房では日常的に伝統工芸品が制作されています。主にイタ（盆）の木彫に見られる文様のひとつ「ラムラムノカ」（魚のウロコを模したものは、二風谷の特徴的な文様として受け継がれており、現代にアイヌの伝統が色濃く残る地域として知られています。二風谷の代表的な伝統工芸である「二風谷イタ」（盆）と「二風谷アットゥシ」（織りもの）は、2013年北海道で唯一、経済産業大臣から「伝統的工芸品」に指定されました。

二風谷民芸組合「匠の道」HP <http://nibutani.jp/artisan/>

### Nibutani Ainu Craft Project（二風谷アイヌクラフトプロジェクト）

平取町二風谷のアイヌ工芸の伝統を未来につなぐことを目的に、北海道平取町が中心となり、2020年10月に発足したプロジェクト。総合デザインディレクターに世界的デザイナー コシノジュンコ氏を迎え、平取町二風谷地区に脈々と受け継がれてきたアイヌの伝統文化をもとに、地元工芸家と一般公募により集められたデザイナーやメーカーとのコラボレーションによって、現代のデザインやライフスタイルに合わせたものづくりを行い、アイヌ工芸の新たな市場開拓にむけた活動を行っています。

プロジェクト公式HP <http://www.nibutani-ainucraft.com/>

### アイヌ文様について

アイヌ民族は、元々は文字を持たず、民族固有の言語であるアイヌ語を用い、口承によって先人の文化を現代に受け継いできました。それらの文化は、住居、舞踊、口承文芸、食、精神、そして、木彫や刺繍でアイヌ文様が施された生活民具など様々な形で継承されています。木彫や刺繍で施されるアイヌ文様は静かに曲がるという意味のモレウの形、目を表したシクの形、棘を表したアイウシの形の基本的な要素を組み合わせることで、彫る人、刺繍する人の個性に応じてさまざまな文様が出来上がるとともに、無限につなげていくことができます。まるで人と自然をつなぎ、地域と世界をつなぎ、過去から現在、そして未来につないでいく魔法のデザインのようにも感じられます。

### EQUALAND SHIBUYA（イコランド シブヤ）

EQUALAND SHIBUYAは、2,3か月毎に設定されるテーマのもとストーリーが感じられるモノ・コト・ヒトが展開される「マーケットエリア」や「ギャラリースペース」に加え、B to Bサービスである「プレスルーム」も併設されたキュレーション型店舗です。



#### 2/1(月)-4/30(金) 期間テーマ『STUDY』

いくつになっても学びたい。

学びはその人自身をかたち作り、やがて未来を作ります。

素敵に生きるための知識とヒントを見つけよう。

ここは、EQUALAD SHIBUYAがおくる、

私とあなたそして未来のための学びの場。

#### <店舗詳細>

営業時間：11:00~20:00(当面の間20時まで)

場所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-20-10 MIYASHITA PARK South 3F

TEL：03-6805-0903

URL: [https://equaland.com/equaland\\_shibuya/](https://equaland.com/equaland_shibuya/)

Instagram: [https://www.instagram.com/equalandshibuya\\_official/](https://www.instagram.com/equalandshibuya_official/)